

# 安全の為に必ずお守りください

## 警告

- 自転車のブレーキは製品のモデルによって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと、自転車のコントロールを失い事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- キャリパーブレーキの取付ナットは、指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。
  - ナットタイプのブレーキには、ナイロンインサートロックナット(緩み止めナット)を使用してください。
  - 沈頭ナットタイプのブレーキには、ナットが6回転以上かみ合う適切な長さの沈頭ナットを使用し、再組立てのときには、ネジ部に封着剤(緩み止め接着剤)を使用してください。
- 取付ナットが緩んでブレーキが外れると、車輪にかみ込んで転倒することがあります。特に前車輪の場合は、突然前方に放り出されて大怪我をすることがあります。
- 後用のブレーキを前ブレーキにはご使用できません。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をすることがあります。
- ブレーキシューに油脂が付かないように注意してください。シューに油脂が付いた場合はシューを交換してください。ブレーキが効かなくなると危険です。
- ブレーキケーブルはサビあるいはほつれが無い点検し、ある場合は速やかに交換してください。ブレーキが効かなくなり危険です。
- 乗る前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
- 雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップしやすくなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

## 使用上の注意:

- 当社ロード用のブレーキシューをセラミックリムに組合せた場合、ブレーキシューの摩耗が早くなります。
- ブレーキシューの溝が無くなるまで摩耗した時には、シューを交換してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。


SI-8A00A-001

# BR-7800

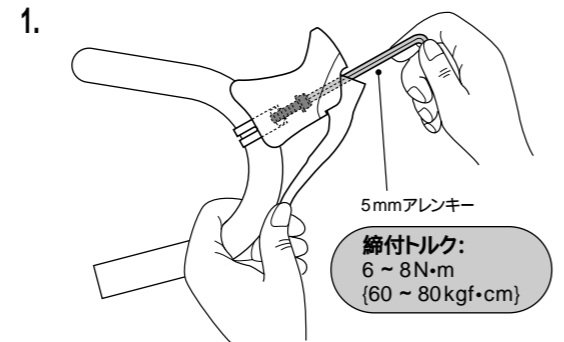
キャリパーブレーキ

## ご使用方法

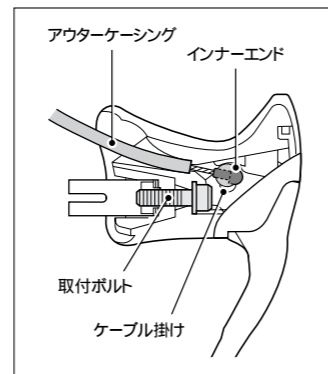
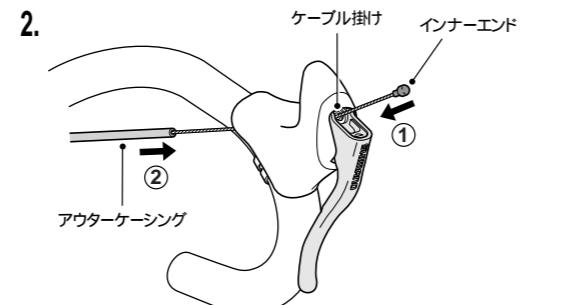
機能を十分に発揮させるために次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	DURA-ACE
ブレーキレバー	ST-7800/BL-R600
キャリパーブレーキ	BR-7800
ブレーキケーブル	

## ブレーキレバーの取付け

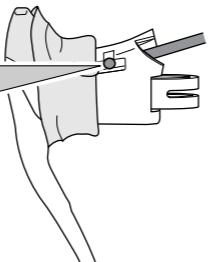


カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷を防ぐために締め過ぎないようにご注意ください。適切なトルク値に関しては完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

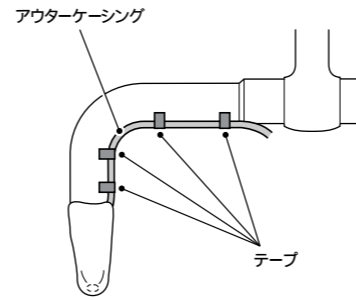


## アウターケーシングの確認

アウターケーシングがきちんと入っていることを確認してください。



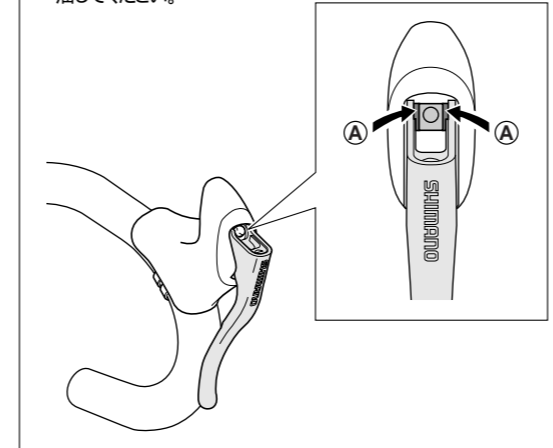
## 3. アウターケーシングを、テープ等でハンドルバーに仮止めをします。



## 4. 続いて、パーテープをハンドルバーに巻きつけます。

### ご注意:

- ケーブルはハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さでご使用ください。
- 長時間使用后、万一キシミ等が発生した場合は(A)の部分に注油してください。

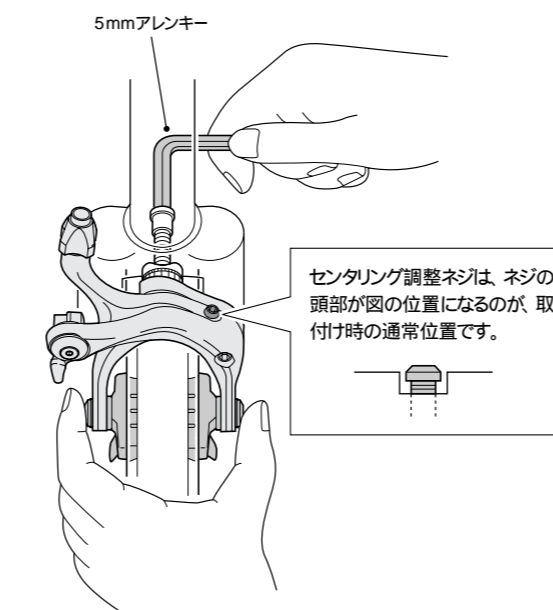


## ブレーキの取付け

### 1. ブレーキ本体の取付け

アーチを握り、シューを強くリムに当たった状態でセットしてください。

締付トルク: 8 ~ 10 N・m (80 ~ 100 kgf・cm)



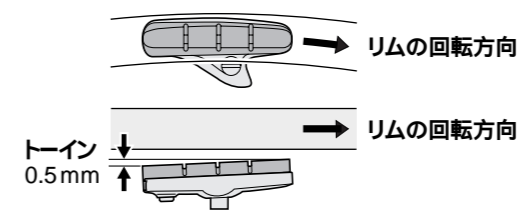
センタリング調整ネジは、ネジの頭部が図の位置になるのが、取付け時の通常位置です。

### ご注意:

ハンドルを曲げた時に、ブレーキアームがフレームに当たる場合は、付属のフレーム用保護シールをフレームに貼ってください。

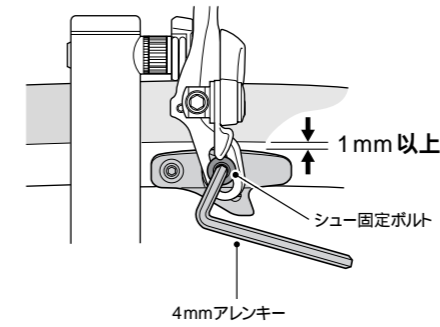
## 2. ブレーキシューのセット位置

シュー面とリム面が図のようになるよう調整した後、シュー固定ボルトを締付けます。



### ご注意:

BR-7800は、シューのリムに対する当り角度トーンが調整できるようになっています。トーンをつけることにより、スムーズなブレーキ操作が可能になります。



締付トルク: 5 ~ 7 N・m (50 ~ 70 kgf・cm)

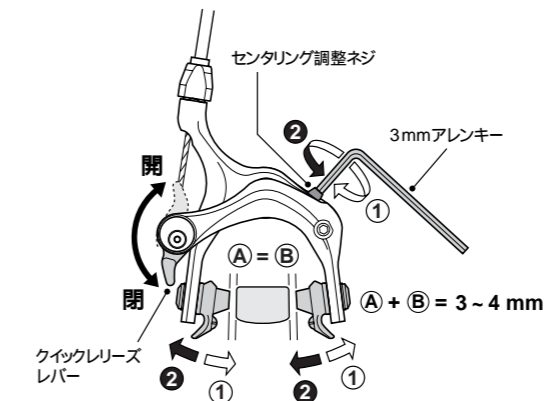
## 3. ケーブルの固定

クイックリリースレバーを閉の位置にして、シュークリアランスを下图のように調整し、ケーブルを固定します。

ケーブル固定ボルト締付トルク: 6 ~ 8 N・m (60 ~ 80 kgf・cm)

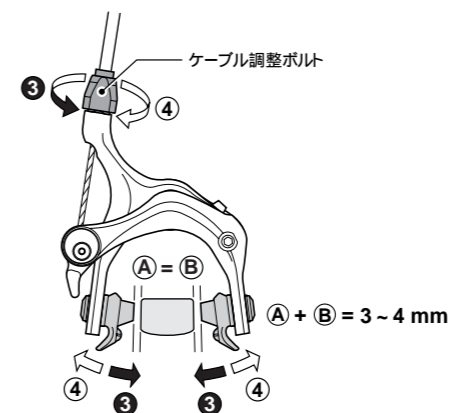
## 4. ブレーキシューのセンタリング

センタリング調整ネジで微調整を行ないます。



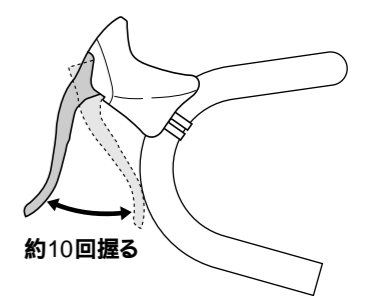
## 5. シュークリアランスの再調整

ケーブル調整ボルトを回し、シュークリアランスの再調整を行ないます。



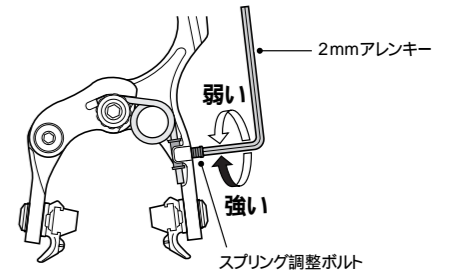
## 6. 確認

ブレーキレバーをグリップにつくまで約10回ほど握り、各部に異常がないことと、シュークリアランスを再確認してからご使用ください。



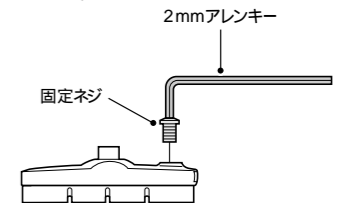
## 7. アーチのパネ力調整

スプリング調整ボルトで、アーチのパネ力調整ができます。

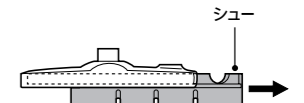


## カートリッジシューの交換

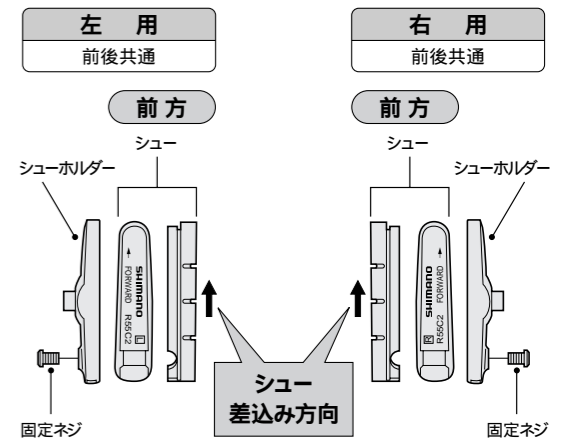
### 1. 固定ネジをはずします。



### 2. シューホルダーからシューを溝にそって抜取ります。



### 3. シューホルダーとシューには、右用・左用があります。方向とネジ穴の位置に注意し、新しいシューを溝にそって入れます。



### 4. 固定ネジを締付けます。

締付トルク: 1 ~ 1.5 N・m (10 ~ 15 kgf・cm)

この取扱い説明書は、再生紙を使用しています。製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。



お客様相談窓口  
☎ 0570-031961

株式会社シマノ  
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577